

平成30年度国立天文台 TMT 戦略基礎開発研究募集要項

1. 概要

日本の TMT 推進プロジェクトの描く方針と共同・連携し、長期的戦略をもって包括的に実施される、TMT 観測装置の実現に向けた基礎開発研究計画を募集します。日本の独自性やアイデアを十分に活かした装置建設を行うための基礎開発から概念設計までを3年から5年程度の中長期にわたって継続して支援することを目的とし、採択課題には研究経費を配分します。(複数年度にわたる研究の場合、年度ごとの応募が必要です。)平成30年度は総額2,000万円の応募を見込んでいます。

2. 求める研究計画像

将来的に TMT の装置開発計画として提案が行われる課題に重点が置かれます。3年間程度で装置提案(もしくは、TMT 推進プロジェクトで使用することを念頭に置いた望遠鏡技術提案やソフトウェア技術提案)や概念検討に至るような計画を期待します。また、将来的に TMT 装置開発に密接に結びつき、装置開発提案につながる基礎技術開発も積極的に評価します。国際的な協力関係がある課題については、代表者がその分担の実行に責任を持つ形での応募をお願いします。

3. 応募方法

応募をご検討される方は、下記の問い合わせ先までご連絡をください。折り返し、応募要項と提案書様式をお送りします。提出の際は、様式による提案書を必ず PDF に変換の上、メール添付にてご送付ください。

提出先: [ck.yasui\(at\)nao.ac.jp](mailto:ck.yasui(at)nao.ac.jp)

提出期限: 平成30年5月7日(月)正午 必着

4. 審査結果通知

応募課題の審査は、国立天文台 TMT 推進小委員会が責任をもって設置する審査委員会にて行います。審査結果は平成30年5月末頃に、代表者宛に通知します。

5. 採択課題の評価

本 TMT 戦略基礎開発研究の推進に当たっては、その進行状況・成果・問題点などを、国立天文台 TMT 推進小委員会が責任を持って設置する審査委員会により能動的に精査し、基礎開発の方向性に対して十分な情報交換、助言を行うとともに、問題があれば必要な対策や割当額の検討を行います。

採択された課題についての計画進捗のレビューは日本 TMT 推進プロジェクトの中長期的なロードマップにも反映させるよう、TMT 推進小委員会において行うことを予定してい

ますし、研究の進捗状況確認のために委員が視察に訪れる事もあり得ます。また年度末には、別途定める書式に基づいて研究成果の報告書を提出していただき、継続申請の場合は前年度の成果報告も含めて評価します。

6. 研究経費について

研究経費は国立天文台での執行が基本となりますが、研究遂行上必要な場合は、本機構と代表者所属機関との間で共同研究契約を締結した上で、所属機関にて執行することが可能です（旅費のみの執行は除く）。なおこの場合、所属機関に対する間接経費の配分はありませんので、経理担当の方とよくご相談の上応募ください。希望される場合は、予め所属機関の事務担当部署の了承を得た上で、提案書の所定欄にてお知らせください。なお、本経費から人件費を支出することはできません。

7. お問い合わせ先

自然科学研究機構 国立天文台 TMT 推進室 安井千香子

E-mail : ck.yasui(at)nao.ac.jp